

能登教務所通信

10月

教区教化テーマ

人と生まれて 能登の大地に親鸞と生きん

教区教化事業のご案内

◆こころの広場◆ 同朋会推進部門

- ・日 時 2022年10月15日(土) 午後2時から4時まで
- ・講 師 加藤 彰教 氏(小松教区 林西寺)
- ・講 題 未定
- ・参加費 500円

教区教化テーマについて 連載コラム第3号

「人と生まれて 能登の大地に親鸞と生きん」に寄せて

能登教区の教化テーマは「人と生まれて 能登の大地に親鸞と生きん」です。「能登の大地に」と、わざわざ強調しています。このテーマをご覧になられた方は、「そんなもん言われんでも分かつとるわいや」と思われるかもしれませんが、この「大地」というのは、「地面」という意味だけではなく、能登の「文化」や「歴史」、そして能登人の「人柄」というものを表しています。「能登はやさしや土までも」というキャッチフレーズは有名ですが、そんな良質な土壌は簡単には出来ません。先人の方々が、永い時間と大変なご苦勞をかけて培って下さったからこそ現在の「能登の大地」があるのです。そして、その営みの根底には真宗の伝統がしっかりと流れていたのだと思います。

真宗が開かれてから八百年が経ちます。この八百年間は決して順風満帆な道のりではなく、むしろ逆風ばかりで困難しかない道のりであったはずですが、それでも現在の私の元まで念仏は届いてくれました。『正信偈(しょうしんげ)』のお勤めも、蓮如(れんにょ)上人をはじめとする歴代の御門首(ごもんしゅ)と、それを支えた御門徒の方々が、何代にも渡って作り上げ、途切れることなく紡いできてくれたものです。

こうして改めて考えてみますと、私が日々唱えている念仏や正信偈(しょうしんげ)は、能登と宗門の先人達、双方のご苦勞が詰まった八百年もののプレミアムギフトであると思うのです。この貴重な過去からの贈り物を大切にいただき、さらに次代へ、その心を伝えていくことが私の「あたり」であると信じて生きたいと願います。

教化テーマ検討委員として、会議を通じて他の委員の皆様から色々な事を教えて頂きました。共に当事業に携われたことは私の大きな糧となりました。得難い時間を過ごさせて頂いたと改めて深謝申し上げます。

文責:福田 正充(教化テーマ検討委員)

教化事業・その他行事のご報告

◆北陸連区ソフトボール大会が開催されました◆

去る、9月8日(木)に、2年ぶりの北陸連区ソフトボール大会が専光寺ソフトボール場(金沢市)において開催されました。

久しぶりの開催に、再会を懐かしむ声も聞こえ、和気あいあいとした雰囲気で行われました。

結果は、能登教区・高田教区・名古屋教区の合同チームが優勝となり、チーム内唯一の連区内教区である能登教区が優勝トロフィーを持ち帰ることとなりました。
 <出雲路善秀>



◆秋安居◆研修部門

本年の秋安居は9月12～13日の2日間にわたり、東館紹見氏(本年度次講講師・大谷大学教授)を講師に迎え、『親鸞聖人伝絵』考察という演題で開催されました。教区内外の有教師14名が受講者として参加致しました。

『親鸞聖人伝絵』は宗祖親鸞聖人の曾孫で、本願寺第三代にあたる覚如上人の撰述されたもので、これから迎える報恩講では各寺にて毎年掲出されているものかと存じます。

覚如上人の生涯や伝絵制作の意図、「琳阿本」「高田本」「康永本」の比較による構成の違い、各段の考察と、限られた時間の中で充実した安居が実施されました。

各段の考察においては覚如の誤記ではないかと言われる上巻第三段と第四段の記述についても史学的視点を踏まえてのお話を聞かせて頂くことができました。(詳細については「2022年安吾次講『親鸞聖人伝絵』考察 東館紹見著 <東本願寺出版>をご覧ください。)

今まで深く考察することなく掲出していた御絵伝を改めて考える良い機縁となりました。

<研修部門 谷野 了>

◆青年研修会◆青少幼年部門

去る9月14日(水)能登教務所において、青年研修会が開催されました。講師に岡崎教区本澄寺ご住職ですーぱー絵解き座座長の椰野明仁氏を迎えてすーぱー絵解きをしていただきました。参加者は計20名でした。今回の研修内容は、前半の1時間ですーぱー絵解きをしていただき、後半の1時間が講師のすーぱー絵解き座をされるきっかけや、今の時代における絵解きの意義



などをお話いただきました。すーぱー絵解きでは、絵解きの中に、びわを弾きながら教えの言葉に節をつけ朗々と語られるスタイルは、従来の説教とは違いとても自由で豊かな教化の手段であると感じました。質疑応答では、ずっと気になっていた絵解きに関する疑問や、絵解きを始めたいが何からすればよいかなどの質問について答えていただきました。今回の研修を通して、法話をもっと学びたい、または法話をすることに悩んでいる方々にとって、とても有意義な時間になったのではないかと思います。

<青少幼年部門 藤原 彰洋>

◆教区報恩講◆ 総合教化本部

能登教区(済美精舎)報恩講は、例年通り11月12日(土)、13日(日)に教務所(済美精舎)にて厳修いたします。但し、新型コロナウイルス感染予防のため、今年度も下記の通り変更した日程、内容にて執行いたしますことをご了承ください。尚、感染症の拡大状況等によっては、更なる日程変更又は執行を中止する場合があります。

【日程について/予定】

12日(土)

午後1時30分 逮夜(楽)
 午後2時30分 門徒表彰
 午後3時 休憩(換気、消毒)
 午後3時15分 法話
 午後3時45分 御伝鈔(上巻)
 午後4時45分 終了

13日(日)

午前10時 満日中(楽)
 午前11時15分 法話
 午前11時45分 終了

- ・全日程中、御齋(食事)はございません。
- ・休憩時間に換気と消毒を行いますので、ご協力ください。

【参拝について】

- ・受付にて、体調チェックシートに氏名や住所等の記載をお願いします。又、検温を行いますので御協力ください。その際37.5度以上の熱がある方は、参詣をご遠慮いただきますことをご了解ください。
- ・参詣の際にはマスクを着用いただき、咳エチケットにご配慮ください。又、随時換気を行います。時節柄、寒くなることも想定されますので、各自防寒対策をお願いします。
- ・参詣席は、間隔を空けて全席イス席(約80席)とします。
- ・宿泊申込は、受け付け致しません。

【各組出仕者報告&一般出仕】

各組からの出仕は、各組長に御依頼(各座1名/各組2名まで)をいたします。組長を通じてご報告ください。

尚、一般出仕希望者と得度受式者並びに新たに住職に就任された方への参勤案内は致しません。

【住職在任30年、坊守在任30年・50年表彰について】

該当の方には、個別にご案内いたします。尚、規程上、前住職、前坊守は該当致しません。

【本山世話方への報恩講参詣案内ハガキについて】

本山世話方を選定されている御寺院には名簿を同封していますので、ご確認いただき、訂正(新規、削除等)がございましたらご連絡ください。

また、例年の本山世話方宛の教区報恩講への参詣案内ハガキ(経常費等の金額は無記載)については発送いたしませんことをご了承ください。

本山・教区事務についてのご連絡

◇正副组长選挙の施行について◇

本年11月30日(水)をもちまして正副组长の任期満了を迎えるにあたり、各組において正副组长選挙を施行いただきます。詳細につきましては、組長へ通知文をお送りいたします。

※任期満了日:2022年11月30日(水)

※次期任期:2022年12月1日(木)から2026年3月31日(火)まで

◇選出教区会議員選挙の施行について◇

本年選出教区会議員の任期満了を迎えるにあたり、12月24日(土)に選挙が施行されます。主な日程は次のとおりです。詳細につきましては、追ってお知らせいたします。

※直接投票日:2022年12月24日(土)

※不在者投票期間:2022年12月21日(水)、22日(木)、23日(金)

※立候補届出期間:2022年12月10日(土)から12日(月)まで

※選挙運動期間:立候補届出日から2022年12月20日(火)まで

※選挙人名簿縦覧期間:2022年12月3日(土)から6日(火)まで

◇印刷機の入替について◇

能登教務所で使用している印刷機(輪転機)の老朽化にともない、入れ替えを行いました。高速インクジェットプリンターを導入したことにより、従来の印刷機より印刷品質や操作性が向上している他、カラー印刷も比較的安価な料金でご利用いただけます。寺報や、行事案内チラシの印刷等でぜひご活用ください。

〈新・印刷機を寺報印刷で使用された住職の声〉



「新しい印刷機はA3用紙での両面印刷が可能。だから印刷が圧倒的に速い」
 「以前はインクが乗るまでかすれていたが、新しい印刷機は1枚目からキレイ」
 「写真がきれい！モノクロもカラーもきれい」

ぜひ、お寺の寺報印刷にご利用ください。

〈利用料金表〉

用紙サイズ	モノクロ <片面>		カラー <片面>	
	用紙持ち込みあり	用紙持ち込みなし	用紙持ち込みあり	用紙持ち込みなし
A4・B4・B5	1円	2円	9円	10円
A3	2円	4円	18円	20円

※2022年10月1日よりご利用いただけます。【設置場所:能登教務所】
 両面印刷いただく場合、上記料金の倍額となります。

◇慶讃法要参拝の御案内パンフレットについて◇

2023年にお迎えする宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年 慶讃法要の『参拝案内用パンフレット』について、十分な在庫がございます。

各組、各寺院、ご門徒の参拝奨励にご活用いただけますと幸いです。

ご入用の際、能登教務所までお申し付けください。



◇本山経常費完納寺院◇(2022.8.1~8.31迄)

2022年度本山経常費をご完納いただき、ありがとうございました。ここにご披露申し上げます、御礼に代えさせていただきます。

第1組	浄善寺	常楽寺	照覚寺	鶺鴒組	蓮光寺	徳善寺	善行寺
第2組	玉照寺			穴水組	慶法寺		
第3浜方組	本立寺			第10組	覺性寺	慶西寺	長覺寺
第4組	柳泉寺	因宗寺	正念寺		教忍寺	浄福寺	本龍寺
第5組	養福寺	本勝寺	名願寺		専念寺		
	永法寺			第12組	西永寺		
第6組	寂静寺	信念寺	碧雲寺	第13組	浄泉寺	西勝寺	頓聴寺
第8組	専念寺	本覺寺	通敬寺		福勝寺	大泉寺	
	聞信寺	佛性寺	真念寺	第14組	稱蓮寺		
	善唱寺	因念寺					

◇宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃懇志金完納寺院◇

(2022.8.1~8.31迄)

2019年度より募財をお願いしております慶讃懇志金につきまして、ご完納いただきありがとうございました。ここにご披露申し上げます、御礼に代えさせていただきます。

第8組 専念寺 第13組 福勝寺

◇住職就任◇(教区通信9月号 掲載以降)

第3浜方組 存立寺 海惠 宏邦 2022年8月28日

◇代務者就任◇(教区通信9月号 掲載以降)

第12組 西光寺 金剛 圭樹(第12組徳蓮寺住職) 2022年8月27日

◇金沢教区宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌讃仰事業 新作表白コンテストについて◇

このたび、金沢教区宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌讃仰事業として「新作表白コンテスト」が開催されます。

詳細につきましては、同封のチラシをご覧ください。

※この教区通信は能登教区ホームページよりPDFファイルでダウンロードすることができます。

発行責任者 能登教務所長 竹原 了珠

発行日 2022年10月1日

能登教区教化テーマ 人と生まれて 能登の大地に親鸞と生きん

慶讃テーマ 南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう

能登教区ホームページアドレス URL <http://ohigashi-noto.jp/>